

2025年12月11日

各 位

公益財団法人 道銀文化財団

2025年度「第35回 道銀芸術文化奨励賞」受賞者決定について

公益財団法人 道銀文化財団（理事長 笹原 晶博）は、2025年度 第35回「道銀芸術文化奨励賞」の受賞者につきまして、音楽部門が指揮者の横山 奏 様、美術部門が現代美術・社会実践のびょういんあーとぷろじぇくと 代表 日野間 尋子 様に決定いたしました。

なお、本賞の概要等は以下の通りです。受賞者の経歴等につきましては別紙をご参照下さい。

1. 本賞の概要

目的	優れた芸術活動により将来を嘱望され、北海道の芸術文化の進展に貢献する芸術家又は芸術団体を顕彰し、賞金を授与する。
分野	音楽部門—クラシック 美術部門—絵画（含む版画）、彫刻、工芸、現代美術・社会実践
対象	個人については北海道出身者又は在住者、団体については北海道内に主たる活動の場を有するもの。個人・団体を問わず、1~2名(団体)を表彰する。
賞金	1名(団体)につき 500,000 円
選考方法	理事会が定める事業計画に基づき、選考委員会の答申を受け理事長が決定する。
2025年度選考委員 (敬称略)	北海道内の芸術文化に精通している人の中から、理事長が委嘱する。 前川 公美夫 音楽評論家／選考委員長 八木 幸三 音楽評論家 本堂 知彦 北海道教育大学 名誉教授 柴 勤 小川原脩記念美術館 元館長／選考副委員長 藤原 乃里子 北海道立近代美術館 企画推進課長 樋泉 綾子 札幌芸術の森美術館 事業係長

2. 贈呈式

日程：2026年3月16日(月) 13:30～14:30

会場：札幌ガーデンパレス(札幌市中央区北1条西6丁目)

以上

<本件に関するお問い合わせ先>

公益財団法人道銀文化財団 事務局 担当：森

TEL：(011)233-1029 ／ FAX：(011)221-0481

URL：<https://digin-bunkazaidan.org> E-MAIL：digin-bunka@hokkaidobank.co.jp

～選考にあたって～

音楽部門は指揮の横山奏さんである。北海道教育大学札幌校で声楽を学んだのち、指揮者をして桐朋学園から東京芸術大学大学院へと進み、2018年、第18回東京国際音楽コンクールで第2位と聴衆賞を受賞した。札幌交響楽団をはじめとする全国のオーケストラなどとの共演では巧みな劇的表現や深い味わいを見せて、音楽を起伏豊かに描き出している。

美術部門は、びょういんあーとぶろじえくと 代表 日野間尋子さんである。札幌ライラック病院を主な舞台に18年にわたりほぼ年1回の展覧会を続け、20名余りの美術作家が参加している。ロビーや待合室に作品を展示することで患者や医療従事者に癒やしや希望をもたらそうとするもので、アートの力を社会に役立てる取り組みである。

共に、今後の展開が大いに期待され、道銀芸術文化奨励賞にふさわしい方々であるとして推薦させていただいた。

2025年度 道銀芸術文化奨励賞選考委員長 前川 公美夫

第35回 道銀芸術文化奨励賞 音楽部門受賞

よこやま かなで し き
横山 奏 (指揮)

1984年5月生 札幌市出身／東京都在住

【略歴】

指揮法をダグラス・ボストック、尾高忠明、高関健、中村隆夫、黒岩英臣の各氏に師事。

2007年 北海道教育大学札幌校芸術文化課程音楽コース卒業

2014年 東京藝術大学大学院音楽研究科修士課程修了

2015-2017年 東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団指揮研究員

2018年 「第18回東京国際指揮者コンクール」第2位&聴衆賞を受賞



©平館平

【近年の主な活動歴】

これまでに札幌交響楽団、仙台フィルハーモニー管弦楽団、山形交響楽団、群馬交響楽団、東京都交響楽団、読売日本交響楽団、新日本フィルハーモニー交響楽団、日本フィルハーモニー交響楽団、東京フィルハーモニー交響楽団、東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団、パシフィックフィルハーモニア東京、東京佼成ウインド・オーケストラ、シエナ・ウインド・オーケストラ、神奈川フィルハーモニー管弦楽団、千葉交響楽団、富士山静岡交響楽団、名古屋フィルハーモニー交響楽団、中部フィルハーモニー交響楽団、京都市交響楽団、大阪フィルハーモニー交響楽団、日本センチュリー交響楽団、関西フィルハーモニー管弦楽団、大阪交響楽団、オオサカ・ション、兵庫芸術文化センター管弦楽団、広島交響楽団、九州交響楽団などと共に演を重ねている。

NHK-FM「石丸謙二郎の山カフェ」にシーズンゲストとして最多登場、登山とクラシック音楽の関連エピソードを紹介し人気を博している。

近年では、NHK大河ドラマ「光る君へ」「べらぼう」コンサートの指揮を務めるなど、活動の場が拡がっている。

第35回 道銀芸術文化奨励賞 美術部門受賞

びょういんあーとぶろじぇくと
ひ の ま ひ ろ こ
代表 日野間 尋子(現代美術・社会実践)

1962年7月生 旭川市出身・札幌市在住



【略歴】

1984年 北海道女子短期大学工芸美術油彩コース専攻科修了

現在の所属：日本美術家連盟会員

収蔵：Art Museum of Iasi (ルーマニア) /釧路労災病院緩和ケア病棟

【近年の主な活動歴】

1986年より札幌、東京で個展、グループ展

2000-2006年 ドイツ、オーストリア、ルーマニアでのアートプロジェクトに参加。その間、芸術療法士（音楽/美術）との共同制作を通して「ケアとアート」の接点に興味を持つようになる。2004年 ザルツブルクアートフェア出品の際、滞在していたザルツブルク市内で、病院が会場となったアート展に出会い心動かされる。

2008年 札幌で任意団体「びょういんあーとぶろじぇくと」を結成

2010年 札幌ライラック病院が初めて外部へ向け解放したコンサート・アート展が実現。

町内会や患者家族から「地域に開かれた活動」と好評を得る。

2013年 「庭で耳を澄まして」展より、趣旨と企画に賛同した絵画、造形作家が活動に加わるようになりアート作品展示の他、コンサートやダンス、ワークショップ等、毎年、分野と内容を更新しながら病院をコミュニティーのひとつとして捉える取り組みを継続。院内アトリエの設置。(札幌ライラック病院)

2015年 札幌ライラック病院、北海道がんセンターで同時開催「ひかりの庭」展

2016年 市立札幌病院、天使病院と展示を拡げる

2016年 第40回日本死の臨床研究会年次大会にてワークショップ

2016年 アートミーツケア学会にて分科会「ケアの現場におけるアートの可能性」

2017年 「びょういんあーとぶろじぇくとの仲間たち」展 (黒い森美術館)

2019年 第24回日本緩和医療学会学術大会にてポスター発表

2019年 第57回日本癌治療学会学術集会にてポスター発表

2019-2023年 コロナ禍を経験しながら医療の場をこころの通った温もりの感じられる人間らしい空間に近づけようと美術家17名による5回の展覧会とイベント開催。

2023年 「びょういんあーとぶろじぇくと展」(札幌文化芸術交流センター)

2024年 第47回日本死の臨床研究会年次大会にて「館内アート」を担当。「つらさやかなしみを持つ人々のそばにあるアート」をテーマに11名の美術家が共同制作に取り組み作品展示。シンポジウムに於いて、アートは人と人を結びつける。アートは行動の変化を促す。アートは希望を見いだそうとする行為でもある。3つの視点からアートの役割と可能性についてを考察。

2024年 アートミーツケア学会にて分科会「死の臨床現場での実践からアートの役割と可能性」

2024年 「旅する星」展 (札幌ライラック病院)

2025年 「とどける・むすぶ」展(札幌ライラック病院)

2025年 論文：小田浩之・日野間尋子「緩和ケアに通じるホスピタルアート—その経緯と指向性」,緩和ケア 35(5):377-383,2025

「びょういんあーとぶろじぇくと」は「アートを用いることで病院で過ごす方々の心や身体にどのような変化が生ずるか」「アートが人間にもたらす力とは何か」に注目し、これまでに約30名のアーティストと道内5か所の医療機関で23回の展覧会と関連イベントを開催している。(2025年11月現在)

道銀芸術文化奨励賞受賞者
(2024年度まで)

別紙 4

(散称略)

年度／回	受賞者名	対象分野(種類)	受賞者名	対象分野(種類)
1991年度 第1回	カウニス弦楽四重奏団	音楽(弦楽四重奏)	北口 さつき	美術(日本画)
1992年度 第2回	米原 真司	美術(ガラス工芸)	札幌室内歌劇場	舞台芸術(オペラ)
1993年度 第3回	ホルツフレザー・ アンサンブル・サッポロ	音楽(木管五重奏)	安念 智康	舞台芸術 (劇作・演出・劇団運営)
1994年度 第4回	橋本 礼奈	美術 (油彩画・テンペラ併用)	北村 洪史	文学(小説・エッセイ)
1995年度 第5回	針生 美智子	音楽(声楽ーソプラノ)	影山 吉則	舞台芸術 (高校演劇指導)
1996年度 第6回	アンサンブル・ヴェガ	音楽(室内楽演奏)	佐藤 克教	美術(木版画)
1997年度 第7回	堀木 淳平	美術(彫刻—モニュメント)	赤川 智保	舞台芸術(モダンバレエ)
1998年度 第8回	グレブ・ニキティン	音楽(ヴァイオリン)	平向 功一	美術(日本画)
1999年度 第9回	梅本 実	音楽(ピアノ)	香西 信行	美術(陶芸)
2000年度 第10回	長内 勲	音楽(合唱指揮)	陳 曜	美術(日本画)
	早川 渉	舞台芸術／映画 (映画監督)		
2001年度 第11回	岡崎 正治	音楽(声楽—テノール)	伽井 丹彌	美術(工芸—人形)
2002年度 第12回	辻森 公恵	音楽(ピアノ)	田中 綾	文学(文芸評論)
2003年度 第13回	小林 重予	美術(彫刻造形)	竹生 東	舞台芸術 (中学校演劇指導)
2004年度 第14回	菅原 利美	音楽(声楽ーソプラノ)	高橋 学	舞台芸術 (ダンサー・振付家)
2005年度 第15回	上杉 春雄	音楽(ピアノ)	鈴木 涼子	美術 (版画・写真・オブジェ)
2006年度 第16回	石田 敏明	音楽(ピアノ)	野又 圭司	美術(彫刻)
2007年度 第17回	外山 啓介	音楽(ピアノ)	福井 路可	美術(絵画)
2008年度 第18回	駒ヶ嶺 ゆかり	音楽(声楽—メゾソプラノ)	松本 早苗	美術(絵画)
2009年度 第19回	石川 祐支	音楽(チェロ)	波田 浩司	美術(絵画)
2010年度 第20回	宮下 祥子	音楽(ギター)	會田 千夏	美術(絵画)
2011年度 第21回	岡本 孝慈	音楽(ピアノ)	井桁 雅臣	美術(絵画)
2012年度 第22回	下司 貴大	音楽(声楽—バリトン)	久野 志乃	美術(絵画)
2013年度 第23回	LCアルモーニカ	音楽(オペラ)	蒼野 甘夏	美術(絵画)
2014年度 第24回	伊藤 亮太郎	音楽(ヴァイオリン)	国松 希根太	美術(彫刻・絵画)
2015年度 第25回	成田 達輝	音楽(ヴァイオリン)	高井 秀樹	美術(陶芸)
2016年度 第26回	中谷 友美	音楽(ピアノ)	上ノ 大作	美術(陶芸・空間造形)
2017年度 第27回	中江 早希	音楽(声楽ーソプラノ)	菱野 史彦	美術(金属彫刻・金属工芸)
2018年度 第28回	沓野 勢津子	音楽(マリンバ)	富田 美穂	美術(木版画・絵画)
2019年度 第29回	鎌倉 亮太	音楽(ピアノ・指揮)	八子 直子	美術 (絵画・インスタレーション)
2020年度 第30回	徳田 貴子	音楽(ピアノ)	クスミエリカ	美術 (デジタルコラージュ)
2021年度 第31回	倉岡 陽都美	音楽(声楽ーソプラノ)	吉田 みなみ	美術(彫刻—石膏)
2022年度 第32回	岩田 真由美	音楽(ピアノ)	藤原 千也	美術(彫刻)
2023年度 第33回	三輪 主恭	音楽(声楽—バリトン)	水野 剛志	美術(日本画)
2024年度 第34回	永沼 絵里香	音楽(ピアノ)	葛西 由香	美術(日本画)